

平成26年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	公民館活用推進事業		担当部署	教育委員会 生涯学習人權課	
総合計画体系			根拠法令計画など	社会教育法	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業期間	開始	昭和 ▼ 不明 年度
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまち なんと			
(小項目)		生涯学習			
施策	1	生涯学習の推進		終期	未定 ▼
基本事業	2	公民館活動の推進			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市民						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	各種学級の参加者の場合、それぞれ豊かな心を育み、生きがいを感じながら健康的に人生をすごしていると実感できること。 また、公民館を利用する団体の場合、申請した日時に公民館が利用できたこと。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	単位
		公民館の利用人数	81,500	82,000	82,500	83,000	90000	人

◎実施結果(DO)

事業実施内容	25年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	大型公民館9館については、引き続き地区自治振興会等へ業務の一部を委託して、地域との協働をさらに充実させ、地域住民の意見を尊重しながら、地域の特色を生かし、独自性を持った公民館運営を進めている。また、公民館の利用団体からの申請をできるだけ受け付けている。						
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
		指標名	24年度実績	25年度実績	26年度目標	27年度目標	28年度目標	単位
活動指標	実施した事業の活動量を示す指標	1 公民館で開催している学級数	16	16	16	16	16	学級
		2						
成果指標	対象にどのような効果があったか示す指標	公民館の利用人数	85,898	87,328	—	—	—	人
		目標達成率(実績/目標)		106.5	—	—	—	%

コスト分析		24年度実績	25年度実績	26年度	27年度	28年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)	21,937	24,497	31,458	24,968	24,968	千円	
	財源内訳	国	0	0	0	0		0
		県	0	0	0	0		0
		地方債	0	0	0	0		0
		その他	0	0	689	689		689
		一般財源	21,937	24,497	30,769	24,279		24,279
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		1,303	1,303	1,303	1,303	1,303	人	
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2		
	臨時職員等(2,012千円/人)							
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		23,240	25,800	32,761	32,761	32,761	千円	

【事務事業名：公民館活用推進事業】

◎平成26年の実施状況(DO)

現在の実施状況	昨年度に引き続き、大型公民館9館の管理・運営の一部を地区自治振興会又はNPO法人に委託し非常勤勤務の館長を1名ずつ委嘱して地域と協働による運営をさらに充実させて運営を進めている。
---------	---

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価			理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 廃止した場合に支障が出る。	公民館は、地域住民の核となる施設であり、生涯学習の場でもある。
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 施策 生涯学習の推進 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価			理由等所見欄
	6	<input checked="" type="checkbox"/>	① 市民生活上の課題解決に貢献している。	公民館は地域住民の活動の場の拠点として活用されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	① 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。	
<input checked="" type="checkbox"/>		② 事業目標が達成できるような事業内容になっている。		
<input checked="" type="checkbox"/>		③ 事業対象は適切である。		
<input type="checkbox"/>		④ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。		
/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価			理由等所見欄	
6	<input checked="" type="checkbox"/>	① 事業実施手法は適切である。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input type="checkbox"/>	④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	/10	<input type="checkbox"/>		⑤ 効率性向上の余地はない。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	現行の大型館の館長は地域住民であり、全国・県公民館連絡協議会など、公的な組織への参画に関して行政の立場からの意見が行えない状況である。今後は、館長の位置づけや、社会教育主事資格保持者と連携しながら公民館運営を進める必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	<input type="text"/> <input type="text"/>			
	どのように改革するのか				